

KEEP on T.R.Y

社長の今月お伝えしたいこと

VOL66
2024年5月

01

先日、(公)日本防犯設備協会より、「総合防犯設備士・受験セミナー講師」を委嘱いただきました。

現在、全国に防犯設備士は約 3.2 万人、その上に総合防犯設備士が 468 人在籍します。

受験セミナー講師は総合防犯設備士の中から、さらに 16 名が選出され、委嘱されます。

もちろん、それには試験があり、無事合格しました。

総合防犯設備士は防犯のプロフェッショナルであり、あらゆる防犯対象に対し、あらゆる犯罪を想定し、ハード面とソフト面を組み合わせた柔軟な総合対策を提言する防犯の専門家です。

もちろん、今までも警察学校を始め、各地域の自治会、各種団体等で防犯講話をさせていただきましたが、今回は同資格を持った方たちを教える立場になるわけです。

まだまだ若輩者で、経験が浅い私ですが、これを機にさらに精進し、学び続ける所存です。

昨今は、犯罪状況に変化が生じ、凶悪化、多様化さらには低年齢化が進んでいます。

また、守るべきものも「ひと・もの・かね」といった形のあるものだけでなく、

「権利・信用・情報」といった財産的価値はあるが、形のないものも増えました。

犯罪方法もネット犯罪等の非侵入犯罪も増加しており、

従来のセキュリティ対策の手法では防ぎきれなくなっているのも事実です。

しかし、社会的な安全確保こそが総合防犯の役目でもあり、

私たちが安全で平和に暮らしていくための資産を守るためにも、

今後は、物理的な防御のみでなく、管理体制や、防犯意識の高揚もふくめ、

総合的な防犯対策を提言できるよう努めてまいります。

03

去る 3 月末には、防犯分野では最も大きなイベントである「SECURITY SHOW 2024」(東京ビッグサイト)において、『多発する凶悪な侵入強盗事件と住宅の防犯対策』と題したシンポジウムのパネリストとして登壇させていただき、お話をさせていただきました。(※詳細は裏面)

05

セキュリティ事業部を創設したのは 1997 年でした。それから 27 年。

設立当初から言い続けている【まちを守るものとモノ】をさらに一步進め、

今後は、地域における防犯防災の安全教育にも携わっていかなければと思っています。

もちろん、これまで通り、お役に立てる情報は、youtube 等でも発信してまいります。

今度とも宜しくお願ひ申し上げます。

04

多発する凶悪な侵入強盗事件と住宅の防犯対策

3月12日、東京ビッグサイトで行われましたシンポジウムでの講演内容を以下にまとめました。

当日は「侵入強盗を入れさせない対策」と「入られてしまった場合の対策」の2つについてお話ししました。

【侵入盗を入れさせない対策】

① 防犯の基本は「訪問者の確認」

訪問者はテレビカメラドアホンにて必ず確認し応答する
ドアホンは高画質・高性能なタイプを選びましょう
ドアホンの役割は「防犯と見守り」です

② ヒューマンエラーである「カギの締め忘れ」を防ぐ 玄関ドアは自動施錠化にしましょう

③ フェーズフリー～防犯と防災は表裏一体～ 防犯ガラスは防災ガラス 防災ガラスは補助金対象です 内窓と面格子は場所を選んで設置

【入られてしまった場合】

④ 先ず避難、次に外部に知らせる 間違っても反撃しない 先ず避難 パニックルームの考え方と、テレビドアホンの緊急コール ※パニックルームについては「窓景」でもお話ししています



今年の夏はさらに暑い?!

88% + 55%の日射カット

気象庁から早々と発表されました「特別警戒熱中症アラート」と「暑熱順化前線」。

ついこの間まで肌寒い季節でしたが、いきなり「10年に1度の酷暑」というワードが使われました。

暑熱順化とは、暑さに身体を慣らしていくことですが
その余裕もないほど、気温の変化は急激です。

youtube で何度もお話ししていますが、窓の遮熱対策に関する
お問い合わせが、3月中旬から急増していますが、
夏の暑さは窓の外で防ぐ。これが答えです。
そのためにも、日射熱を88%カットするシェードスクリーン
に加え、同じく日射熱55%カットの遮熱断熱複層ガラスの使用
をお勧めしています。

現在、窓の断熱化工事に対し、補助金が支給されています。
今年度は特に断熱窓取替への支給額が大幅に増額されており、
夏の冷房費を抑えるためにも、断熱窓への取替をお勧めします。
電気・ガスの光熱費が値上がりしている今、効率的なお部屋の冷
房を行い、室内における熱中症を防ぎましょう。
窓の遮熱効果は弊社ギャラリーの実験装置でご体感ください。



俺たちの秘密基地ミュージアム（仮称）

誰もが夢見る「秘密基地」。 いつからかそれを真剣に考えるようになりました。

私の趣味の一つにフィギア収集があり、自他ともに認めるかなりのコレクションです。

そんな私の友人には、集める分野は違えども、志を同じくする仲間がいます。

ある方はアイドルのビデオや写真集を、ある方は漫画を大量に保管しています。

共通事項は「死んだらどうする？」。もう1点、家族からの「捨ててくださいコール」。

そんな方たちとお話しするうちに、いつかそれぞれのコレクションを持ちより

「俺たちの秘密基地ミュージアム（仮称）をつくろうぜ」計画が走りはじめました。

その第1計画予定地が、私の会社になっています（汗）

考えただけでもワクワクする夢と企画。でも。それがあるから、頑張って働けます（笑）

